

令和8年度実施 「元気創造まちづくり事業」

資料 1 - 1

	団体名	事業名	補助額	事業概要
1	美里プロジェクト (2年目)	みさと喫茶	200,000	地域の高齢者や子どもの居場所づくりや高齢者の生きがいづくり、子どもの食事困窮解消を目的に毎月2回「みさと喫茶」を実施しています。
2	栗太の歴史をつなぐ会 (1年目)	栗太の歴史をつなぐ会	200,000	栗太郡衙岡遺跡は、1986年の圃場整備で発掘されて39年が経過しました。全国にも知られた遺跡ですが、現在は知名度が低いです。昨年、「栗太郡衙岡遺跡と周辺遺跡保存会」を立ち上げ、「栗太郡衙岡遺跡と周辺」の講演会と現地見学会を開催し会員募集を行いました。令和7年5月31日、「りっとう史跡の会」と合併して『栗太の歴史をつなぐ会』と改名し、設立総会を行いました。古代栗太郡の誇を理解し賛同した会員38人の組織構成ができ、今後も会員の拡大を図りながら、岡遺跡のジオラマ作成による栗東の魅力発信を行います。
3	栗東子育てコミュニティSunbase (1年目)	親子の笑顔を増やしたい！栗東子育て元気いっぱいプロジェクト	180,000	「栗東市で子育てを楽しむ親子を増やす！」 市内に居住する未就園児、未就学児の親子が、気軽に安心して遊びに行ける場や家ではなかなかできない体験ができる場をつくることで、親子の外出の機会をつくること、親子の絆を深めること、同じ地域で子育てする保護者同士がつながるきっかけ作りを促進します。

令和8年度実施 「協働事業提案制度（連携支援型）」

	団体名	事業名	協働担当課	事業概要
1	PoCo Harmony (3年目)	親子カフェ	子育て支援課	地域における夫婦共働き家庭の増加や孤立感を抱える母親の課題に対応する目的で企画された子育て支援事業 子育て世代が共に育てた野菜を素材とした「食事の提供」により食育と農業への理解を深め、「レクリエーション企画」では子どもと保護者が参加できる楽しい活動を通じて、地域のコミュニケーションを促進する。子育て中の保護者が、気軽に集い子育てについて悩みを相談したり、お互いにアドバイスをしたりする交流の場をつくることで、地域の子育て世代が共に成長し合い、健康で幸せな子育て環境を築くための支援体制を整備する。

	団体名	令和 7 年度の寄附実績	前年度の寄附実績に 応じた補助上限額 (目標補助額)	過去の積み立て	今年度の 補助上限額	事業概要
1	子育てサロンCoCo愛 (令和 2 年度登録 令和 4 年度更新 令和7年度更新 活動 6 年目)	83,000円 (3件) 市内 1 件 市外 2 件	56,500円 (200,000円)	—	56,500円	○子育てサロン ●毎週木曜日、10時から16時（コロナ感染予防の消毒の為当分の間15時30分とする）・利用料として100円必要 ○ランチとカフェの提供（材料費として400円必要） ○毎月第2木曜日、ニコニコクラブによる絵本の読み聞かせ 乳幼児期から絵本に親しむことは大事なことである。ママのお膝で安心して聞かせてもらうことで情緒の安定につながる。 ○フリートークや講師による育児講座 育児中のママ同士が自由に子育ての経験を話すことで、不安や悩みを共有し、子育ての振り返りができる。時には講師から専門的な話を聴き子育てに自信が持てるようする。 ○ファミリーの集い（お楽しみ会年2回） 父親の参画や平日ここあを利用できない親子が参加し易いように土日に事業を実施し、共に子どもの成長を喜び合い、健やかな子どもを育成することを目的にする。 ○食育の観点や趣味的な講座の開催（恵方巻・リースやアレンジフラワー等） 季節の野菜を使つての食事の提供、体験で一緒に作ることで実家に帰ってきた安心感を味わってもらう。趣味的な講座では、自分のできることを増やし、心豊かな感性を育てほしい。そして、心に余裕をもって子育てしてほしい。 古民家の良さを活かし、親子でホッとできるくつろげる場を作るように環境を整える。
2	栗東生活支援協議会 (令和 2 年度登録 令和 4 年度更新 令和7年度更新 活動 6 年目)	501,000円 (7件) 市内 2 件 市外 5 件	370,500円 (4,000,000円)	—	370,500円	①緊急食料バンク事業 緊急時における食材等の確保や提供がより円滑に実施できるよう、継続して取り組みを進める。 ・自立相談支援、フードバンク等関係機関と連携し、食糧支援を入口として必要な支援につなげる。 ・市内の店舗や公共機関と連携し、フードドライブ、フードパントリーの仕組みを構築する。 ②活動資金助成事業 篤志 ((団体)による支援活動がより充実・発展するよう、継続して取り組みを進める。 ・社会福祉協議会と連携し、子ども食堂等の継続支援と新規立ち上げを応援する。 ・関係機関と連携し生活困窮世帯や不登校の子どもやひきこもり状態にある方等についてフリースペースや子ども食堂を活用した居場所づくりに努める。 【R 6 年度以降の追加事業】 ・少額緊急つなぎ資金貸与事業 生活福祉資金等貸付事業の対象外事案かつ緊急的な事象に対し、少額の貸与をおこなう。 ・ヤングケアラーやひきこもり状態にある人への支援事業 市民への啓発として、講演会もしくはフォーラムの開催、また当事者やその家族、支援者向けの教室や居場所づくり、または助成をおこなう。 ・女性の貧困対策事業 コロナ禍等により女性の貧困がクローズアップされており、その支援のために女性の居場所や相談の機会を設ける。 ・就労体験事業等 本会会員企業と連携し、青少年の就労体験を実施し地元での就職につなげるとともに、住み慣れた地域で安定した生活ができるよう支援する。
3	栗東演劇祭実行委員会 (令和 2 年度登録 令和 4 年度更新 活動 6 年目)	0 円 (0 件) 市内 0 件 市外 0 件	0 円 (200,000円)	—	0 円	活動休止

令和 8 年度実施「未来へつなぐ市民活動応援事業」						
	団体名	令和 7 年度の寄附実績	前年度の寄附実績に 応じた補助上限額 (目標補助額)	過去の積み立て	今年度の 補助上限額	事業概要
4	びわ湖ブラインド コーラス隊 (令和 5 年度登録 活動 3 年目)	40,000円 (1件) 市内 0 件 市外 1 件	20,000円 (150,000円)	—	20,000円	・月 1 回の定期練習会のほか、令和 5 年 6 月より第 2 日曜日午後の講師のグループ練習会にも参加し、その他のグループの発表会にも出演できるようになった。 ・持ち歌「誇りの町」の作曲家である京都市在住の音楽家のコーラスグループと合同練習会に参加させていただき、京都市の音楽会にも参加したい。 ・隔月に「やすらぎの家」「ひだまりの家」「ゆうあいの家」を訪問し演奏会をしていきたい。 ・そのほか、栗東市内で活躍されているコーラスグループとの交流も計っていく。 ・コーラス活動の拡大→晴眼者・視覚障がい者の交流の強化を考えている。 栗東市では120名以上の視覚障がい者がいます。現在10名の会員数を男女の構成割合を考えながら混声コーラスや男声、女声単独でコーラスできるまで会員を増やす。
5	手原SL同好会 (令和 6 年度登録 活動 2 年目)	13,000円 (1 件) 市内 0 件 市外 1 件	6,500円 (170,000円)	—	6,500円	①毎月第3 日曜日の午前中、SL の静態保存維持のための補修作業を実施。同日、SL 公園内敷地の雑草・異物等の除去、清掃活動を実施し、環境美化に努める。 ②SNS を活用して、一般市民が参加できるイベントや展示会等を行う。8 月 夏休み子ども企画イベント 10 月 鉄道記念日企画イベント12 月 年末（お正月飾り等の準備）企画イベント 1 月 正月飾り・お鏡割企画イベント その他、適宜のイベントや他団体とのコラボ企画イベント等を開催する。 ③同好会会員、ボランティア仲間との交流を深め、SL の保存維持方法等を学ぶための研修として、県外・他市地域の静態保存されている「SL 保存会」の皆さんとの交流会や研修会を適宜行う。
6	治西ゆうあい スポーツクラブ (令和 7 年度登録 活動 1 年目)	145,000円 (1 0 件) 市内 6 件 市外 4 件	98,000円 (300,000円)		98,000円	・毎月の教室の指導者への謝金の確保 毎月の教室は、子ども対象として、ミニバスケット、バトミントン、卓球、フットサル、スポーツバイキング。大人対象として太極拳、ヨガ、ソフトエアロ、にこやかストレッチ、バレーボール、ビーチボールの教室を今後も継続して実施するために、優れた指導者を確保する活動と共に、指導者への謝金の確保を進めていく。 ・新しい会員の確保と子どもたちへのスポーツ離れを防ぐための教室の開催 治田西小学校在校生全員を対象にした陸上教室、フットサル教室、バトミントン教室、ミニバスケット教室、ニュースポーツ教室を開催し、子どもたちの居場所づくりや体力向上を図り、スポーツをする楽しさを実感してもらい、スポーツクラブへの入会を促していきたい。多種目のスポーツを体験することにより、自分に合った競技を見つけてもらうための活動をする。 ・夏休みに子どもたちが集まり、ゲームや模擬店を楽しむイベントの開催 小学生を対象として実施するサマーフェスタの開催は、コミュニティセンター治田西の館内では、4 種類をチャレンジする。ミニストラックアウト、ミニスローイングビンゴ、わなげ、カップにポンを実施し、外ではかき氷、ポップコーン、たこせんの模擬店を開き、子どもたちが夏を楽しめる場所を提供していく。フェスタの実施種目や模擬店の内容については事業運営委員会で協議して、子どもたちの興味のあるゲームや楽しめる模擬店を提案して計画している。実施にあたり小学校PTA、地域振興協議会、運営委員の協力を今後も要請して充実したサマーフェスタを実施する。 ・高齢者を対象とした事業の充実を目指し、健康長寿を延ばす活動 春と秋の 2 海のウォーキングでは、春はさくら、秋は紅葉の散策を楽しんでもらう活動を行っている。「歩く、話す、季節感を感じる、食べる」といった五感を刺激して充実したライフスタイルの確保に努める。